

令和6年度「豊かな心」育成プログラム

学校番号: 26013

学校名: 札幌市立澄川小学校

本校の実態

①児童アンケートより

- ・「学校は楽しい」と回答の児童が 96.6%という結果で、学校生活を楽しんでいる児童が多い。

②いじめ調査より

- ・年3回の心のシートと市教委のいじめアンケートの計4回の児童アンケートを実施している。そのおかげで、いじめに繋がる重大案件に発展していない。

③SNSのトラブル

- ・児童が携帯電話やスマホを所有している数が増えている。SNSへの書き込みや画像掲載のトラブルも見られる。

④学校の現状として

- ・配慮を要する児童が各学年に複数名在籍している。学びのサポーターやT・T担当、担任外等との連携、対応、指導が一定の効果を成している。
- ・本校オリジナルソング「あいさつのススメ」を作成して挨拶運動に取り組んでいる一方、自発的な挨拶は少ない。

本校の特色

- ・フラワーロードやスノーキャンドル、澄小まつりなど、地域との活動が充実している。
- ・地域との交流や出前授業などを通して、実体験を通して社会に生きて働く「本物の体験」を行う機会を設けている。

札幌市の教育で目指す「豊かな心」

他者を思いやる心・生命を尊重する心・自然や美しいものに感動する心等

相互承認の感度が高まる支持的な風土で、多様性の尊重を～自分が大切にされている実感

目標(子ども像)

やさしく思いやりのある子どもの育成

人間尊重の教育

【みんながみんなの中で自由に自分らしく生きられる学校】

澄川の取組の重点

①「小さな社会」学年・学級での 集団体験・集団活動の充実

- 道徳的实践の指導の充実
- 全人的な発達・成長
- 自己指導能力

②道徳教育、社会性を育む 体験的活動、言語活動の充実

- 「いのちの学習」の充実
- 読書活動
- 共感する心の育成
- 異学年交流

③命を大切にする指導の徹底 いじめ未然防止・早期発見・早期対応

- 組織的重層的対応
- 情報教育の徹底
- 心のシート(年3回の児童アンケート)

④新たな不登校を生まない未然防止の 取組、組織的・計画的な不登校支援

- 心の居場所、絆づくり
- 保護者支援
- 校内学びの支援委員会
- SCの活用

相互承認の
感度を高める

感謝 笑顔

一日一善

挨拶 謝罪

子どもの声を聴く
子どもの声に応える

児童理解

自己有用感・相手意識
自己肯定感・規範意識

いじめのない学校

不登校への対応

コミュニティスクール

思いやりの心 挨拶

- 義務教育9年間で、知徳体の調和の取れた育ち
- 校種間連携について家庭や地域と関わり、目指す子どもの姿の共有化【札幌らしいコミュニティスクール】
- 中学校区で連携した児童会・生徒会が主体となった自治的自発的な挨拶運動(小中一貫した教育)
- 「さっぽろっ子自治的な活動」の活性化による「子どもの声を聴く」素地づくり

検証の方法

- ふりかえりカードの活用
- 児童アンケートや保護者アンケートの活用
- 年4回の心のシート(いじめアンケート)の結果分析と意図的・計画的な活用
- 学校評議員会・学校関係者評価等の活用

指導方法の改善の手立て

①道徳教育の充実

- ・日常生活での道徳的実践の指導の充実
- ・「特別の教科 道徳」の充実、授業参観等で授業公開

②命を大切にする指導の充実

- ・共感する心の育成
- ・養護教諭や栄養教諭と連携した「いのちの学習」「食指導」

③いじめ・不登校対策

- ・担任、学年、低・中・高学年の各ブロック、学校全体での情報共有と重層的な対応
- ・「澄川いじめ防止対策基本方針」に則った、未然防止・早期発見・早期対応
- ・月一回の「いじめ防止定例会議」を行うとともに、いじめの事実が認められた場合、速やかにいじめ対策会議を行う。
- ・発達段階等、実態を重視した情報教育の徹底
- ・外部人材との連携による不登校児童支援

④子どもの心に寄り添った教育相談の充実

- ・機動性のある校内学びの支援委員会の機能
- ・校内研修で児童と向き合い寄り添うためのスキル向上
- ・スクールカウンセラーの活用